

1. 基本事項

作成日 令和02年07月03日(金)

施策		障害者福祉の推進		期間	H. 30 ~ R. 4	施策担当部課名	障害福祉課
第2次総合計画	行政計画分野別名	大項目	200001健康でいきいきと暮らせるまち(子育て・保健・福祉)	施策の概要 (目的や対象)		障害者が地域社会の一員として自立し暮らせるよう、生活の場の確保や在宅福祉サービスなど必要なサービスの充実と就労を促進し、障害者の自立促進を支援します。	
		中項目	200003地域で支え合って生活できるまちづくり				
		小項目	200003障害者福祉の推進				
重要度及び満足度の状況	市民アンケートでは障害者福祉の施策については重要度は高いが満足度は低い結果になっているので、満足度を高める施策を実施することが求められる。			施策の推進のための主な取り組み	居住支援の充実		
施策を取り巻く社会状況等	障害者総合支援法や障害者雇用促進法などの整備、障害者優先調達推進法が新しく施行されるなど、障害者(児)の自立に向けた施策がとられている。				在宅福祉サービスの充実		
					就労支援の充実		

2. 評価指標

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	指標値(上段は目標値・下段は実績値)					
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標	サービス等利用計画、障害児支援利用計画作成率	%	-	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	作成が必要な人数に対する作成済み人数の割合	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
	障害者就労支援センター登録者の就労割合	%	-	46.10	46.60	47.10	47.60	48.10
	就労者数/登録者数	%	47.90	46.36	53.26	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1:現状維持 2:拡充 3:縮小
<評価コメント> サービス等利用計画の作成については、100%達成を継続している。障害者就労支援センター登録者の就労割合(実績)は前年度実績及び目標値を大きく上回ることができた。		
		評価者 障害福祉課長 浅田 朱美

4. 改善・改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な改善策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充 <input type="checkbox"/> 事業の新規立案 <input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編 <input type="checkbox"/> その他	<ul style="list-style-type: none"> サービス等利用計画の作成率については、今後も適切な管理を行い、この作成率を維持していく。 就労支援については、深谷市就労支援センター(深谷市社会福祉協議会)と連携し、より多くの方を就労に結び付けていく。また、就労支援センターと障害者総合支援法のサービス(就労移行支援・就労定着支援)事業所との連携を研究していく。

5. 二次評価

<所属長の見解> 障害者が地域の一員として尊重され、自分らしい生活を自らの意思で選択できるよう支援していく。そのためには、障害者とその保護者の心身の状況や環境、利用に関する意向を勧奨し、計画相談支援等によるサービス等利用計画の作成率を維持する。また、就労を希望する障害者の就労割合の向上に努め、障害者の自立促進の支援を推進していく。	
所属長	福祉健康部長 新井 進